

橋本学、岡崎哲也、 蜂須賀研二、甲斐明 子	慢性期高次脳機能障害者に 対する社会復帰準備のため の「リハビリテーション学級」 の試み	第 32回日本高次 能障害学会学術総 会	2008.11	松山
加藤徳明、橋本学、 岡崎哲也、蜂須賀研 二	北部九州に在住する外傷性 脳損傷者の実態再調査	第 32回日本高次 能障害学会学術総 会	2008.11	松山
重森 稔	神経外傷関連プロジェクトの 概要と最近のICU管理	荒木千里記念脳外 科症例検討研究会	2008.12	大阪
土井 亮	視覚及び聴覚誘発事象関連 電位を用いた外傷後高次脳 機能障害者の認知機能の特 徴	第 609回集談会	2008.1	久留 米
Tokutomi T, Miyagi T, Doi R, Shigemori M	Cognitive recovery and social outcome after traumatic brain injury	7 th World Congress on Brain injury	2008.4	ポル トガ ル
宮城知也、竹内靖 治、竹重暢之、神代 由紀、広田桂介	急性期意識障害例における 早期理学療法の検討	第 17回日本意識 障害学会	2008.7	東京
Shigemori M	Lesson learned from Neurotrauma Project	International Conference of Multidisciplinary Neurotraumatology	2008.10	名古 屋
三雲 透	周辺視野が姿勢制御に及ぼ す影響について～視覚情報 処理能力が低下した高次脳 機能障がい症例を通して～	第 20回活動分析 研究大会	2008.5.17 ~ 18	山梨
武居光雄	大分県における私共の高次 脳機能障害への取り組み	第 45回日本リハビ リテーション医学会 学術集会	2008.6.4 ~6	横浜

岩崎 裕子	頭部外傷後の高次脳機能障害に対する復職に向けたアプローチの経験	第 9 回日本語聴覚学会	2008.6.21 ~ 22	栃木
出口 直子	高次脳機能障がい支援拠点機関の相談支援コーディネーターの活動報告	第 1 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会	2008.10.19	大分
谷口 亜耶	大分県高次脳機能障害連絡協議会の取り組み～アンケート調査からみた課題と展望～	第 1 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会	2008.10.19	大分
竹尾 あゆみ芝尾與志美	高次脳機能障害患者へのアプローチ～空間無視・注意障害の症状を呈する患者のセルフケア向上への関わり～	第 7 回日本リハビリテーション看護学術大会	2008.11.8	
児玉 徹	高次脳機能障害(注意障害)の在宅単身生活復帰への福祉施設の取り組み	第30回九州 PTOT 合同学会	2008.11.22 ~ 23	大分
膳所 紘	高次脳機能障がい者の就労支援～事例から学んだ就労支援の輪～	第30回九州 PTOT 合同学会	2008.11.22 ~ 23	大分
三雲 透	自動車運転習得に向けて必要な支援体制についての考察～高次脳機能障がいを呈した症例を通して学んだこと	第 12 回大分県作業療法学会	2009.1.25	大分
安部 純子	高次脳機能障害者に対する長期的アプローチの必要性～神経心理学的検査と FIM、FAMを比較して～	第 12 回大分県作業療法学会	2009.1.25	大分
黒木美妃、帖佐悦男、鳥取部光司	当院における高次脳機能障害の現状	第 31 回宮崎リハビリテーション研究会	2009.3.7 (予定)	宮崎

福岡県

平成20年度事業実績	
支援拠点(協力)機関名	福岡県身体障害者リハビリテーションセンター 〒811-3113 吉野市千鳥3丁目1番1号 TEL.092-944-1041
相談支援 コーディネーター (職種)	太田 保 (経営企画課長、社会福祉士) 奥宮 千鶴 (社会福祉士)
相談事業 (件数を含む)	合計件数 249件 新規相談 122件(電話117件、来所5件) 継続支援 127件(電話110件、来所17件) *平成20年4月1日～平成21年3月10日
事業内容	1.平成20年度高次脳機能障害支援事業研修会及び事務検討会の開催 1)高次脳機能障害支援実践セミナー(行政関係者編) 平成20年11月5日 クローバープラザ(春日市) 参加者77名 「高次脳機能障害者の診断と支援のあり方について」 産業医科大学リハビリテーション医学講座・教授 蛭須賀研二 「高次脳機能障害者への福祉施策について」 福岡福祉労働部障害者福祉課・自立支援係 中野伸和 福岡県身体障害者リハビリテーションセンター/産業医科大学病院 福岡県身体障害者リハビリテーションセンター/産業医科大学病院 /久留米大学病院/福岡市立心身障害児福祉センター 2)高次脳機能障害支援実践セミナー(医療・福祉等従事者編) 平成20年12月16日 クローバープラザ(春日市) 参加者239名 「高次脳機能障害者の理解とリハビリテーションについて」 産業医科大学リハビリテーション医学講座・講師 岡崎哲也 「事例にて学ぶ高次脳機能障害者への支援」 当事者の話 実際に支援した事例紹介(施設利用、復職等) 「高次脳機能障害相談支援活動の報告」 福岡県身体障害者リハビリテーションセンター/産業医科大学病院 /久留米大学病院/福岡市立心身障害児福祉センター 3)高次脳機能障害講演会 平成21年2月1日 クローバープラザ(春日市) 参加者270名 「高次脳機能障害支援拠点構想からの報告」 福岡県身体障害者リハビリテーションセンター 「高次脳機能障害者への対応とリハビリテーションについて」 東京慈恵会医科大学付属病院リハビリテーション科・講師 橋本圭司
事業内容 (参加者数を含む)	

連絡協議会 (参加者数を含む)	1.高次脳機能障害者相談支援体制構築調整委員会の開催 1)第1回高次脳機能障害相談支援体制構築調整委員会 平成20年7月25日 吉塚合同庁舎(福岡市) 参加者29名 2)第2回高次脳機能障害相談支援体制構築調整委員会 平成21年1月16日 吉塚合同庁舎(福岡市) 参加者29名 2.ネットワーク会議の開催 1)第1回ネットワーク会議 平成20年5月23日 福岡県庁(福岡市) 参加者9名 2)第2回ネットワーク会議 平成20年8月19日 福岡県庁(福岡市) 参加者7名 3)第3回ネットワーク会議 平成20年12月19日 福岡県庁(福岡市) 参加者8名 4)第4回ネットワーク会議 平成21年3月30日開催予定 福岡県庁(福岡市) 3.厚労科研究費研究九州ブロック会議への参加 1)第1回厚労科研究費研究九州ブロック会議 平成20年7月25日 吉塚合同庁舎(福岡市) 3名出席 2)第2回厚労科研究費研究九州ブロック会議 平成21年1月16日 吉塚合同庁舎(福岡市) 3名出席
家族支援等 その他	1.専門相談ホットラインによる相談受付 2.家族支援相談会の開催 毎月1回、福岡県身体障害者リハビリテーションセンターとクローバープラザ(春日市)を交互に会場とした。 3.相談窓口を移した入所・通所を受け入れ(平成21年2月末現在、28名の利用者) 4.ホームページによる広報啓発 5.市区町村(80ヶ所)、地域包括支援センター(111ヶ所)、相談支援事業所(64ヶ所)、回復期リハビリテーション病棟等(58ヶ所)を訪問し、施設紹介及び高次脳機能障害者のリーフレットを配布。
事業課題	1.地域自立支援協議会と連携し、地域における支援ネットワークを構築していく。 2.地域で利用できる社会資源の掘りおこしと整理。

福岡県

平成20年度事業実績	
産業医科大学病院 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1 TEL 093-603-1611	
支援拠点(協力)機関名	甲斐明子(臨床心理士)
相談支援 コーディネーター (職種)	
相談事業 (件数を含む)	相談件数(平成20年4月～平成21年3月10日) 新規相談 95件(電話68件、来院24件、その他3件) 継続相談 延べ279件(電話64件、来院212件、その他3件)
事業 内 容	1.産業医科大学リハビリテーション講習会の開催 1)第8回産業医科大学リハビリテーション講習会 平成20年10月16日 北九州国際会議場 参加者92名 「高次脳機能障害の診断と障害認定」 産業医科大学リハビリテーション医学講座 教授 蛸須賢二 「評価とリハビリテーション」 産業医科大学リハビリテーション医学講座 講師 岡崎哲也 「発症や支援の相談」 産業医科大学病院高次脳機能障害支援コーディネーター 甲斐明子 「高次脳機能障害支援の充実に係るアンケート調査報告」 北九州市障害福祉センター 半田西子、印博昭 2)第9回産業医科大学リハビリテーション講習会 平成21年2月7日(予定) 産業医科大学ラマツウィーニ小ホール O&A 産長・産業医科大学リハビリテーション医学講座・助教 岩永博 「高次脳機能障害がありそうでが別に相談すればいいですか」 産業医科大学病院・高次脳機能障害支援コーディネーター 甲斐明子 「リハビリはいつまで続ければ良いですか」 福岡市立心身障害児福祉センター・課長 永吉美砂子 特別講演
研究事業 (参加者数を含む)	

産長・産業医科大学リハビリテーション医学講座・教授 蛸須賢二 「断外傷における高次脳機能障害の特徴と機能画像」 広島県立障害者リハビリテーションセンター 丸石正治 シンポジウム 産長 北九州市保健福祉局障害福祉部福祉センター・所長 大丸孝 産業医科大学リハビリテーション医学講座・講師 岡崎哲也 司会 北九州市保健福祉局障害福祉部福祉センター・佐長 櫻崎清巨 北九州市保健福祉局障害福祉部福祉センター・係長 印博博 「高次脳機能障害者の職場復帰事例」 北九州市保健福祉局障害福祉部福祉センター 小笠原長生 櫻とりの里・事業部長 江藤正善 とりはた玄海(選・サービスマン)管理責任者 黒田敦子 2)福岡県、北九州市、各種団体が主催する研修会への講師派遣 1)北九州市障害者地域支援研究会 平成20年8月21日 アシスト21 「発達障害・高次脳機能障害のふたごの就労の現状と必要と 考えられる取り組み」 産業医科大学病院高次脳機能障害支援コーディネーター 甲斐明子(ハネリストとして) 2)北九州市高次脳機能障害研修会 平成20年度第1回高次脳機能障害研修会 平成20年9月2日 アシスト21 「高次脳機能障害について」 産業医科大学リハビリテーション医学講座・講師 岡崎哲也 3)福岡県産時脳機能障害支援事業 高次脳機能障害支援実践セミナー ①行政関係者編 平成20年11月5日 クローバープラザ 「高次脳機能障害の診断と支援のあり方について」 産業医科大学リハビリテーション医学講座・教授 蛸須賢二 「高次脳機能障害支援活動の報告」 産業医科大学病院・高次脳機能障害支援コーディネーター 甲斐明子 ②医師・福祉等従事者編 平成20年12月16日 クローバープラザ 「高次脳機能障害の理解とリハビリテーション」 産業医科大学リハビリテーション医学講座・講師 岡崎哲也

<p>「高次脳機能障害支援活動の報告」 産業医科大学病院・高次脳機能障害支援センター 甲斐明子</p> <p>4)平成20年度高次脳機能障害がい専門職員養成研修会 平成20年12月14日 大分</p> <p>「高次脳機能障害:これまでの経過と今後の方向性」 産業医科大学リハビリテーションセンター 教授 崎須賀研二</p> <p>5)愛媛高次脳機能障害リハビリテーション講習会 平成21年1月7日松山にぎはつ会館</p> <p>「高次脳機能障害の現状とその対応」 産業医科大学リハビリテーションセンター 教授 崎須賀研二</p> <p>6)北九州府高次脳機能障害研修会 平成20年度第2回高次脳機能障害研修会 平成21年2月21日(予定) アシスト21</p> <p>「事例発表」 産業医科大学病院・高次脳機能障害支援センター 甲斐明子</p> <p>7)長崎県 高次脳機能障害支援シンポジウム 平成21年2月25日(予定) ながさき看護センター</p> <p>「高次脳機能障害者の紹介について」 産業医科大学リハビリテーションセンター 講師 岡崎哲也</p> <p>3.福岡県が主催する研修会への参加</p> <p>1)福岡県高次脳機能障害支援事業 高次脳機能障害講演会 平成21年2月1日 クローバープラザ</p> <p>「高次脳機能障害支援拠点機関からの報告」 福岡県リハビリテーションセンター 次田 暁</p> <p>「高次脳機能障害者への対応とリハビリテーションについて」 東京慈恵会医科大学付属病院リハビリテーション科 榎本圭司</p> <p>1.合同会議 平成20年度厚生労働省研究費九州ブロック会議・ 高次脳機能障害支援担当者会議(行政関係者)を開催</p> <p>1)1回 平成20年7月25日 吉塚合同庁舎 参加者39名</p> <p>「高次脳機能障害の社会支援システム」 国立リハビリテーションセンター・学院長 中島八十一</p> <p>「北部九州の実態調査」 産業医科大学リハビリテーションセンター 教授 崎須賀研二</p> <p>「各県の取り組み状況」 福岡県/佐賀県/長崎県/大分県/熊本県/鹿児島県/沖縄県/宮崎県</p> <p>2)第2回 平成21年1月16日 吉塚合同庁舎 参加者40名</p>	<p>「高次脳機能障害支援普及事業のこれまでとこれから」 国立障害者リハビリテーションセンター 学院長 中島八十一</p> <p>研究報告</p> <p>「脳外傷後の認知障害 事業型通電位に関して」 高本病院脳神経外科 土井亮</p> <p>「脳脊自動車運転シミュレーターを用いた 高次脳機能障害者の運転評価」 産業医科大学病院リハビリテーションセンター 加藤健明</p> <p>「各県の取り組み状況」 福岡県/佐賀県/長崎県/大分県/熊本県/鹿児島県/沖縄県/宮崎県</p> <p>2.福岡高次脳機能障害相談支援体制運営調整委員会への参加</p> <p>1)第1回 平成20年7月25日 吉塚合同庁舎 参加者29名</p> <p>2)第2回 平成21年1月16日 吉塚合同庁舎 参加者32名</p> <p>3.福岡県ネットワーク会議への参加</p> <p>1)第1回 平成20年5月23日 福岡県庁 参加者9名</p> <p>2)第2回 平成20年8月19日 福岡県庁 参加者7名</p> <p>3)第3回 平成20年12月19日 福岡県庁 参加者8名</p> <p>4)第4回 平成21年3月(予定)</p> <p>1.社会復帰支援のためのカンファレンスへの参加</p> <p>2.外来通院中の患者について、医師・産業療法士・障害者職業カウンセラー、シヨブコー子、会社関係者とのカンファレンスを運営開催</p> <p>3.北九州府自立支援協議会ネットワーク部会 発着・高次脳機能障害者就労ワーキングへの参加</p> <p>1)第1回 平成20年8月8日 ウェル戸畑 参加者9名</p> <p>2)第2回 平成20年9月17日 ウェル戸畑 参加者8名</p> <p>3)第3回 平成20年10月29日 ウェル戸畑 参加者8名</p> <p>4)第4回 平成20年12月10日 ウェル戸畑 参加者9名</p> <p>4.社会復帰準備のための高次脳機能障害リハビリテーション学級の開催</p> <p>1)1学期 平成20年4月30日/5月7・14・21・28日/6月11・18・25日/ 7月2・9日</p> <p>2)2学期 平成20年8月27日/9月3・10・17・24日/10月1・8・15・22・29日</p> <p>3)3学期 平成20年12月17・24日 平成21年1月14・21・28日/2月4・18・25日/3月4・11日</p>
--	--

<p>「高次脳機能障害支援普及事業のこれまでとこれから」 国立障害者リハビリテーションセンター 学院長 中島八十一</p> <p>研究報告</p> <p>「脳外傷後の認知障害 事業型通電位に関して」 高本病院脳神経外科 土井亮</p> <p>「脳脊自動車運転シミュレーターを用いた 高次脳機能障害者の運転評価」 産業医科大学病院リハビリテーションセンター 加藤健明</p> <p>「各県の取り組み状況」 福岡県/佐賀県/長崎県/大分県/熊本県/鹿児島県/沖縄県/宮崎県</p> <p>2.福岡高次脳機能障害相談支援体制運営調整委員会への参加</p> <p>1)第1回 平成20年7月25日 吉塚合同庁舎 参加者29名</p> <p>2)第2回 平成21年1月16日 吉塚合同庁舎 参加者32名</p> <p>3.福岡県ネットワーク会議への参加</p> <p>1)第1回 平成20年5月23日 福岡県庁 参加者9名</p> <p>2)第2回 平成20年8月19日 福岡県庁 参加者7名</p> <p>3)第3回 平成20年12月19日 福岡県庁 参加者8名</p> <p>4)第4回 平成21年3月(予定)</p> <p>1.社会復帰支援のためのカンファレンスへの参加</p> <p>2.外来通院中の患者について、医師・産業療法士・障害者職業カウンセラー、シヨブコー子、会社関係者とのカンファレンスを運営開催</p> <p>3.北九州府自立支援協議会ネットワーク部会 発着・高次脳機能障害者就労ワーキングへの参加</p> <p>1)第1回 平成20年8月8日 ウェル戸畑 参加者9名</p> <p>2)第2回 平成20年9月17日 ウェル戸畑 参加者8名</p> <p>3)第3回 平成20年10月29日 ウェル戸畑 参加者8名</p> <p>4)第4回 平成20年12月10日 ウェル戸畑 参加者9名</p> <p>4.社会復帰準備のための高次脳機能障害リハビリテーション学級の開催</p> <p>1)1学期 平成20年4月30日/5月7・14・21・28日/6月11・18・25日/ 7月2・9日</p> <p>2)2学期 平成20年8月27日/9月3・10・17・24日/10月1・8・15・22・29日</p> <p>3)3学期 平成20年12月17・24日 平成21年1月14・21・28日/2月4・18・25日/3月4・11日</p>	<p>家族支援等 その他</p>
--	----------------------

1. 社会復帰に際しては読書の認知機能や作業能力だけでなく、社会的技能が重要であることが明らかとなっている。社会的技能を高めるために集団訓練が有用であるが診療報酬算定の対象外のため医療機関での継続的施行が困難である。地域での支援の一環として福祉・行政機関での集団訓練施行が必要と考えらる。

2 重症度に応じて適切なない連絡した支援を行う観点から、高次脳機能障害者を受け入れる作業所等が不足し、医療リハからの移行が困難な状況である。受け入れ可能な作業所等の拡充が必要であり、行政の積極的な指導を促す。当機関としては作業所等との連携の強化や関係活動への協力を行っていく。

事業課題

福岡県

平成20年度事業実績	
支援拠点(協力)機関名	久留米大学病院 脳神経外科 〒830-0011 福岡県久留米市加那167 TEL:0942-35-3311(代表)
相談支援 コーディネーター (職種)	赤吉 江理奈 (精神保健福祉士)
相談事業 (件数を含む)	相談件数(平成20年4月～平成21年3月13日現在) 合計 384 件 新発相談 74 件 継続支援 290 件
研修事業 (参加者数を含む)	1.高次脳機能障害支援事業研修会への講師派遣 1)高次脳機能障害支援実践セミナー(行政関係者編) 「高次脳機能障害支援活動報告」 相談支援コーディネーター 赤吉 江理奈 平成20年11月5日 クローバーホール 77名 2)高次脳機能障害支援実践セミナー(医療・福祉等従事者編) 「高次脳機能障害支援活動報告」 相談支援コーディネーター 赤吉 江理奈 平成20年12月16日 クローバーホール 238名 2.高次脳機能障害研修会への参加 1)高次脳機能障害講演会参加 平成21年2月1日 クローバープラザ 1.合同会議:平成20年度厚労科研班九州ブロック会議・ 高次脳機能障害支援担当者会議への参加 1)第1回 平成20年7月25日 吉塚合同庁舎 2)第2回 平成21年1月16日 吉塚合同庁舎 2.高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会への参加 1)第1回 平成20年7月25日 吉塚合同庁舎 2)第2回 平成21年1月16日 吉塚合同庁舎
事業内容	

<p>家族支援等 その他</p>	<p>3. ネットワーク会議への参加 1) 第1回 平成20年5月23日 福岡県庁 参加者9名 2) 第2回 平成20年8月19日 福岡県庁 参加者7名 3) 第3回 平成20年12月19日 福岡県庁 参加者8名</p>
<p>家族支援等 その他</p>	<p>1) 精神保健福祉関係機関連絡会議 参加 平成20年8月8日 久留米総合庁舎</p> <p>本年度も検査・診断等を主とした新規及び継続した支援を実施する中で、以下のような成果と課題が見られた。</p>
<p>事業課題</p>	<p>1. 黒南地域からの相談件数が増加している点、受け入れ可能なリハビリ施設等が増えつつある点については一定の成果が見られるが、一方で、高次脳機能障害者に対し、適切なリハビリを提供している社会資源が十分ではない点</p> <p>2. 受療(発症)から相談までの期間が2年未満・3～10年以上の二極化が見られ、5年以上の患者様の場合、当時のカルテや画像が医療機関に残っており、正確な状況把握が難しい点</p> <p>3. 精神障害、発達障害等、別の疾患を元々お持ちであったと推察される患者様への高次脳機能障害の診断・診断及び支援が難しい点</p> <p>以上の事から、今後必要となる啓蒙活動と支援体制の拡大を図る必要がある。</p> <p>また、当院内の活動として、高次脳機能障害者への高次脳疾患研究所での更なるリハビリの実施や日中の居場所も含めた精神科リハビリでの支援を試みる。</p>

福岡県

<p>平成20年度事業実績</p>	
<p>支援拠点(協力)機関名</p>	<p>福岡市立心身障害児福祉センター(あいあいセンター) 福岡市中央区長浜1-2-8 TEL:092-721-1611</p>
<p>相談支援 コーディネーター (職種)</p>	<p>和田 明美(理学療法士)</p>
<p>相談事業 (件数を含む)</p>	<p>平成20年4月～平成21年3月現在 新規相談 130件 (電話105件、面接25件) 継続相談 182件 (電話124件、面接37件、その他21件)</p>
<p>事業内容</p>	<p>1. 福岡県が主催する研修会への講師派遣及び参加 1) 高次脳機能障害支援実践セミナー(行政関係者対象編) 平成20年11月15日 クローバープラザ 参加者77名 報告(支援機関からの紹介) 和田明美 2) 高次脳機能障害支援実践セミナー(医療・福祉等従事者編) 平成20年12月16日 クローバープラザ 参加者239名 講演(事例にて学ぶ高次脳機能障害者への支援) 永吉美砂子、和田明美 3) 高次脳機能障害講演会 クローバープラザ 参加者270名 2. その他の研修会への講師等の派遣 1) 第43回日本理学療法学会 平成20年5月16日 国際会議場 教育講演司会(高次脳機能の理学療法介入戦略) 和田明美 2) 自立支援法ヘルパー研修 平成20年7月22日 あいあいセンター 参加者29名 講演「高次脳機能障害の理解と対応」永吉美砂子、和田明美 3) 香川県障害者余命勉強会 平成20年10月25日 北九州市立総合療育センター 参加者40名 講演「高次脳機能障害のリハビリテーション」 和田明美 4) 早良区精神保健医療福祉連絡会議 平成20年12月10日 早良区保健福祉センター 参加者25名 講演「高次脳機能障害について」 和田明美</p>

佐賀県

平成20年度事業実績	
支援拠点(協力)機関名	佐賀大学医学部附属病院
相談支援 コーディネーター (職種)	浅見聖子(医師)
相談事業 (件数を含む)	合計件数 37件 新規相談 28件 (電話4件、来所24件、その他0件) 継続相談 9件 (電話1件、来所 8件、その他0件)
事業内容	<p>1. 高次脳機能障害支援事業研修会の開催</p> <p>1) 平成20年度高次脳機能障害者支援研修会(第1回)</p> <p>平成21年1月19日 佐賀大学医学部附属病院</p> <p>参加者 212名</p> <p>「高次脳機能障害者支援における大学の取り組みと諸外国の状況」 佐賀大学医学部・教授 堀川悠男</p> <p>「高次脳機能障害とは?～主な症状と対応について」 福岡市立心身障害福祉センター・リハビリテーション課長 永吉美砂子</p> <p>2) 平成20年度高次脳機能障害者支援研修会(2回)</p> <p>平成21年2月23日 佐賀大学医学部附属病院</p> <p>「高次脳機能障害と社会復帰支援～佐賀大学医学部附属病院における支援拠点病院としての取り組み～」 支援拠点病院 浅見聖子</p> <p>佐賀大学医学部附属病院・診療科長 武居光雄</p> <p>「高次脳機能障害のリハビリテーション」 調訪の社病院・院長 武居光雄</p> <p>2. 高次脳機能障害研修会への講師派遣</p> <p>1) 平成20年度第2回リハビリテーション研修会 平成20年10月17日 佐賀社会保険病院</p> <p>「高次脳機能障害の評価と訓練」 佐賀大学医学部附属病院・作業療法士 竹下淳子(59名)</p>

<p>5) 第1回高次脳機能障害支援研修会 平成23年1月19日 佐賀大学 参加者213名 講演「高次脳機能障害とは?～主な症状と対応について」 永吉美砂子</p> <p>6) 高次脳機能障害者支援会</p> <p>平成21年1月31日 北九州 参加者25名 講演「高次脳機能障害のリハビリテーションについて」 中村真美</p> <p>7) 福岡市医師会職員研修会</p> <p>平成21年2月2日 あいあいセンター 講演「高次脳機能障害について」 永吉美砂子 参加者50名</p> <p>8) 産業医科大学リハビリテーション講習会</p> <p>平成21年2月7日 産業医科大学 講演「リハビリテーションはいつまで続けられますか」 永吉美砂子</p>	<p>1. 福岡高次脳機能障害支援事業</p> <p>1) 高次脳機能障害支援体前連絡調整委員会 第1回 平成20年7月25日 吉塚合同庁舎 参加者29名 第2回 平成21年1月16日 吉塚合同庁舎 参加者32名</p> <p>2) ネットワーク会議 第1回 平成20年5月23日 福岡県庁 参加者9名 第2回 平成20年8月19日 福岡県庁 参加者7名 第3回 平成20年12月19日 福岡県庁 参加者8名</p> <p>2. 厚労科研究員研究会 第1回九州ブロック会議 平成20年7月25日 吉塚合同庁舎 第2回九州ブロック会議 平成21年1月16日 吉塚合同庁舎</p>
連絡協議会 (参加者数を含む)	<p>1) リハビリテーション実務者家族への支援</p> <p>月1回の家族会の開催、勉強会及び懇談会</p> <p>2) 福岡・高次脳機能障がい者とともに歩む会の会への支援</p> <p>5月10日 総会後の家族交流会への参加</p> <p>9月20日 講演「福祉制度について」和田明美</p> <p>3. 就労定着支援 就労者のフォローアップグループの開催</p> <p>第1回5月28日 第2回2月7日</p>
家族支援等 その他	<p>1. 自立訓練へのスムーズな移行</p> <p>2. 福岡市社会福祉事業団施設との連携による就労支援体制の構築</p>
事業課題	

長 崎 県

平成20年度事業実績	
支援拠点(協力)機関名	長崎こども、女性・障害者支援センター 障害者支援部 更生相談課 地域支援班 〒852-8114 長崎市構町10-22 電話 095-844-5515
相談支援 コーディネーター (職種)	山口 孝人(ソーシャルワーカー)
相談事業 (件数を含む)	合計 173件 (H21.3.12現在) 内訳 新規相談 54件(電話34件、来所19件、その他1件) 継続支援119件(電話24件、来所46件、その他49件) ※ その中は自宅訪問、関係機関訪問等
通所事業	1クール(2回/週×3ヶ月)延べ24回、年間2クール実施 1クール H20.7.15～10.14 2クール H20.11.18～21.3.5 火・木曜日9:10～12:10 利用者4人、定員5人) 精神科専門療法(精神科ソーシャルワーク)として実施 スタッフは精神科医師、作業療法士、言語聴覚士、保健師他
事業 内 容	別紙のとおり
研究事業 (参加者を含む)	1.県下次脳機能障害支援連絡協議会(委員15人)
連絡協議会 (参加者を含む)	1回 H20.8.5、2回 H21.3.17 2.県地域リハビリテーション協議会(委員24人) 1回 H20.9.4、2回 H21.3
家族支援等 その他	1.脳外備「ふるむ」長崎 実施会 4/6、6/8、9/13～14、10/12、12/21、2/8 (1回/2月、年6回) ※ 当センター職員参加 役員会 5/19、6/30、7/28、8/11、11/17、1/13 (1回/2月、年6回) ※ 3回センターの会議室利用 2.脳神経変性疾患専門医マップの作成 3.脳機能向けパンフレットの作成
事業課題	1.高次脳機能障害者の診断(精神科健診)手帳・年令・福祉サービス利用)体制が不十分 2.福祉・保健・医療関係者及び一般への広い普及啓発 3.障害者・市町を地域の相談窓口と位置づけた地域支援体制の整備 4.通所事業のノウハウを将来的には福祉サービスへ波及展開

2)平成20年度職員研修 平成20年10月23日 佐賀障害者職業センター 「高次脳機能障害者のリハビリテーション」 佐賀大学医学部附属病院、診療教授 浅見豊子(28名) 3.高次脳機能障害研修会への参加 1)高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 佐賀大学医学部附属病院、作業療法士 川野佳代 平成20年7月2日～4日 国立身体障害者リハビリテーションセンター 1.平成20年度厚生労働科学研究費研究プロジェクト会議 高次脳機能障害支援担当委員会 1)第1回 平成20年7月25日、福岡県立総合合同庁舎 浅見豊子(佐賀大学)、秋山真奈絵(佐賀大学)参加 2)第2回 平成21年1月16日、福岡県立総合合同庁舎 浅見豊子(佐賀大学)、林ちづる(佐賀大学)、田崎直美(佐賀県庁)参加 2.平成20年度佐賀県高次脳機能障害者支援推進委員会 1)第1回 平成20年7月22日、佐賀県庁 参加者20名 2)第2回 平成21年1月7日、佐賀県庁 参加者18名 1.高次脳機能障害「ふるむ」佐賀との相談会議 平成20年7月17日/平成20年9月29日/平成20年11月10日 佐賀大学医学部附属病院 2.本人家族、関係職種との症例検討会 平成20年5月27日/平成20年11月18日 佐賀大学医学部附属病院 3.各市町街に本人、家族、リハスタッフ、MSWでの評価後の話し合い 佐賀大学医学部附属病院 4.佐賀新聞社による高次脳機能障害に関する取材記事掲載 平成20年11月7日/平成21年1月20日 5.高次脳機能障害支援に関するホームページの作成 6.リーフレットの作成準備	家族支援等 その他
事業課題	1.高次脳機能障害者支援に対するアンケート調査結果の検討・評価 2.関係職員および一般市民に対する高次脳機能障害に関する研修・啓発活動 3.各機関における連携強化

◎ 平成20年度長崎県高次脳機能障害支援センター実施研修と高次脳関係者会議への講師派遣等支援実施状況(予定も含む)

研修会名	開催期日	場所	
センター主催研修会			
長崎県高次脳機能障害支援センター(予定) 概要 ①基調講演「高次脳機能障害者の取扱いについて」 講師：岡崎 哲也 (産業医科大学1000「リハビリ」医学講座 講師) ②シンポジウム「高次脳機能障害支援サービスの充実をめざして」	H21.2.15	ながさき看護センター (諫早市)	
1. センター主催研修会			
長崎県高次脳機能障害支援担当者研修会	H20.9.25	10人	
西彼保健科職員研修	H20.5.13	1.5人	
保健所精神保健担当者会議	H20.5.30	3.6人	
保健所地域リハ推進事業担当課長及び担当者会議	H20.7.25	2.3人	
保健所・広域 地域リハ合同会議	H20.10.17	4.1人	
初馬保健科精神保健協議会	H20.12.12	3.3人	
2. 保健所支援担当者研修会・会議等で当センター担当高次脳機能障害支援について説明			
会議名	開催期日	参加者	
保健所高次脳機能障害支援担当者研修会	H20.9.25	10人	
西彼保健科職員研修	H20.5.13	1.5人	
保健所精神保健担当者会議	H20.5.30	3.6人	
保健所地域リハ推進事業担当課長及び担当者会議	H20.7.25	2.3人	
保健所・広域 地域リハ合同会議	H20.10.17	4.1人	
初馬保健科精神保健協議会	H20.12.12	3.3人	
3. 保健所及び地域リハ広域支援センター主催の圏域研修会～ 当センターから高次脳機能障害支援普及啓発の講師派遣			
会議名	開催期日	参加者	
上五島保健所高次脳研修会	H20.8.20	12.9人	
佐世保広域支援センター研修	H20.9.6	7.7人	
県北広域支援センター 高次脳研修	H20.10.4	9.0人	
五島市高次脳機能障害支援研修会	H20.10.21	4.0人	
村馬広域支援センター 高次脳研修	H20.11.28	4.0人	
4. 市町村担当職員等研修会で、当センター担当より高次脳機能障害支援について説明			
会議名	開催期日	参加者	
長崎支援センター管内市町障害者福祉担当職員研修会	H20.6.30	3.6人	
佐世保支援センター管内市町障害者福祉担当職員研修会	H20.6.18	1.9人	
市町・支援機関福祉職員専門研修(高次脳：長崎)	H20.9.17	4.8人	
市町・支援機関福祉職員専門研修(高次脳：佐世保)	H21.2.18		
5. その他支援機関等が実施する高次脳機能障害支援研修会へ当センターから講師派遣			
研修会名	開催期日	場所	参加者
長崎県障害者地域活動支援協議会	H20.5.31	大村市こどもセンター	6.0人
長崎県障害者地域活動支援協議会	H20.6.7	長崎県農協会館	4.0人
長崎県障害者リハビリテーションセンター研修会	H20.9.11	宇戸市社会福祉センター	9.5人
宇戸市社会福祉協議会	H20.10.11	長崎市立図書館	7.0人
医療社会事業協会 高次脳研修	H21.1.24	長崎市ハートセンター	4人
ながさきベネッセヘルスケア情報			

熊本県

支援拠点(協力)機関名	平成20年度事業実績
熊本県高次脳機能障害者支援センター(熊本大学病院内) 熊本市本庄1-1-1 専用電話 096-373-5784(専門ホットライン)	
相談支援 コーディネーター (職種)	高次脳機能障害支援センターコーディネーター 谷所 孝史 (精神保健福祉士)
相談事業 (件数をきむ)	電話相談 73件 7月1件/9月2件/9月10件/10月15件/11月13件/12月9件/21年 1月10件/2月13件/3月8件(3月10日現在) 場所は平成20年10月から
事業内容	1.高次脳機能障害支援の取組についての研修会 高次脳機能障害者に対する正しい理解を促進し、高次脳機能障害者に 支援を行う医療・保健・福祉等の関係支援機関とのネットワークの構築 を図る。 平成20年11月6日(水)午後6時30分～9時 熊城大学市民ホール(熊本市民会館)大ホール 「熊本県の高次脳機能障害者への支援について」 熊本県健康福祉部障がい障害支援課 宮本靖子 「高次脳機能障害支援センターの役割」 熊本大学大学院医学系研究部脳機能病態学・教授 池田学 特別講演 「高次脳機能障害者への社会生活支援のあり方」 —神奈川県での経験をを通して— 神奈川県リハビリテーション病院医療福祉総合相談室 生方克之 参加者 400人 (市町村/保健所/病院関係者/障害者支援施設関係者/地域におけ る高次脳機能障害者の支援に関わる関係者等) 2.第4回 見えにくい障害を理解するために —岩手県高次脳機能障害者研究会— 「高次脳機能障害—熊本の高次脳と今後の課題—」 熊本市立熊本市民病院脳神経外科 高田明 平成20年6月27日 熊本ホテル 参加者約 45人

大分県

平成20年度事業実績	
支援拠点(協力)機関名	社会福祉法人 麗福共済 別府リハビリテーションセンター 〒874-0840 大分県別府市大字鶴見字中山田1026番地の10 TEL:0977-67-1711(代) 担当者 出口直子 医療法人 光心会 講助の杜病院 〒870-0945 大分県大分市津守888-6 TEL:0977-567-1277(代) 担当者 浅倉恵子 出口直子(臨床心理士) 浅倉恵子(作業療法士)
相談支援 コーディネーター (職種)	
相談事業 (件数を含む)	相談件数 新規相談 146件(来所48件、電話94件、その他3件) 継続支援 76件(来所61件、電話14件、その他1件)
研修事業 (参加者数を含む)	別紙参照
連絡協議会 (参加者数を含む)	1.第3回大分県高次脳機能障がい者相談支援専任者研修会 2008年10月30日 別府リハビリテーションセンター 参加者 18名 2.大分県高次脳機能障がい支援拠点機関会議 ①第4回 2008年6月2日 別府リハビリテーションセンター 参加者 14名 ②第5回 2008年10月27日 講助の杜病院 参加者 8名 ③第6回 2008年11月17日 講助の杜病院 参加者 8名
事業内容	

平成19年度	373	38	100	32	38	41	37	67	51	37	30	48	733
平成17年度	294	65	116	41	68	43	28	70	39	50	61	96	863
平成16年度	167	45	108	29	47	41	25	53	35	51	43	75	719
平成15年度	156	36	85	26	30	44	22	47	29	51	57	55	642
平成14年度	175	60	79	20	37	32	29	63	23	38	41	65	659
平成13年度	185	49	87	24	41	42	35	45	35	37	50	68	719
平成12年度													467

※ 平成19年度研修科目

項目	調査時期	担当
主治医実務に関する事項について	30分	医
論文掲載医誌等の理解及び主治医実務者の記載について	60分	医師会
在宅医療の推進と主治医の役割について	30分	医師会

<p>家族支援等 その他</p>	<p>1.相談会の開催 2.パンフレット改訂版の作成 3.卒業発表までの活動報告 4.厚生労働省高次脳機能障害プロジェクト会議参加</p>
<p>事業課題</p>	<p>1.高次脳機能障害に対する理解が広がり、医療、保健、福祉関係者からの相談件数が増えているため、高次脳機能障害者に預かるスタッフへの教育。 2.急性期から回復期を経て最終的に地域で生活していく際に利用できる精神科リハビリ施設や作業所など、施設との連携。</p>

研修者名	開催場所	日程	研修の概要	参加人数
大分大学セミナー	大分大学	2008年4月9日	『高次脳機能障害の理解について』	100人
平成20年度大分県高次脳機能障害特別協議会 報告及び特別講演	アイネス	2008年4月18日	『高次脳機能障害の最新ニュース調査報告』	20人
南田市医師会	南田市医師会	2008年5月27日	『高次脳機能障害の理解について』	20人
南田地区担任職員公開講座	南田病院	2008年5月29日	『高次脳機能障害の理解と支援について』	50人
『大講の夜』職員研修会	大講の家	2008年6月17日	『高次脳機能障害がい』	35人
竹田市日誌支援センター主催研修会	竹田市日誌支援センター	2008年6月26日	『高次脳機能障害がい』	56人
九州保健福祉大学特別講演	九州保健福祉大学	2008年7月19日	『高次脳機能障害の理解について』	60人

宮崎県

平成20年度事業実績	
支援拠点(協力)機関名	◎宮崎大学医学部附属病院 リハビリテーション部・脳神経外科・精神科 〒889-1692 宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200 TEL:0985-85-1510(代表) ○宮崎県身体障害者相談センター 〒889-1601 宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5710-2 TEL: 0985-85- 3388(代表) ○溝尾昭彦・落合祐芳(一般行政)
相談支援 コーディネーター (職種)	
相談事業 (件数を表む)	別添計画書参照 (平成21年2月1日から稼働開始)
研修事業 (参加者数を表む)	別添計画書参照 (平成21年2月1日から稼働開始) 講義「高次脳機能障害のリハビリテーション」 対象:医学部4年生、平成20年11月10日
連絡協議会 (参加者数を表む)	主催者:宮崎県障害福祉課 開催予定:平成21年1月30日 宮崎県庁会議室 参加者予定者:委員25名、事務局7名
家族支援等 その他	別添計画書参照 (平成21年2月1日から稼働開始)
事業内容	

事業課題

地域における総合的な支援ネットワークの構築及び活性化が最大の課題と認識しており、これを踏まえて作成した当事業計画の遂行・検証・検証結果に基づき計画の見直しも、適宜に実施していく。

宮崎県高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関運営要領

第1 趣旨

宮崎県身体障害者相談センター（以下、「センター」という。）は、高次脳機能障がい支援拠点機関としての活動の推進を図るため、支援対象者及び家族（以下「支援対象者」という。）が必要とする事業を行うものとし、その実施については、「宮崎県高次脳機能障がい支援事業実施要綱」に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

第2 実施事業の範囲

事業の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 普及啓発事業
- (2) 施設等訪問指導事業
- (3) 行政等研修事業
- (4) 相談・情報提供事業
- (5) 支援会等育成事業
- (6) その他、センター所長が支援対象者等の福祉の向上に特に必要と認める事業

第3 高次脳機能障がい者支援コーディネーターの設置

支援対象者等のニーズに適切に対応しその福祉の向上に資するため、高次脳機能障がい者支援コーディネーター（以下、「コーディネーター」という。）をセンターに置く。

2 コーディネーターの区分及び職務は次のとおりとする。

- (1) 総合相談支援担当
センター所長の指示のもとに、支援対象者及び家族への一次対応、相談支援並びに関係機関との調整等を行う。
- (2) 社会的リハビリ支援担当
総合相談支援担当の指示のもとに、支援者等に対する社会的リハビリ支援及び関係機関との調整等を行う。

3 各担当には、次の職位又は職種の者をもって充てる。

- (1) 総合相談支援担当
助所長及び主任兼主管
- (2) 社会的リハビリ支援担当
理学療法士及び作業療法士

第4 関係機関との連携等

センターがその事業を立案するに当たっては、宮崎県高次脳機能障がい者支援推進協議会との協議・審議結果を反映しなければならぬ。

- 2 コーディネーターがその担当業務を遂行するに当たっては、特に宮崎大学との連携を図らなければならない。

附 則

この要領は平成21年2月1日から施行する。

各関係機関の実務者

資料4

高次脳機能障がい者対策協議会
イメージ図
(レベル1)





